



自治会町内会 顔が見えると地域が つながる



地域を支える
自治会町内会の
活動は2・3面へ



市長だより

横浜市では、能登半島地震で被災された方々が一日も早く日常の生活を取り戻せるよう、被災地に累計1,500名を超える職員を派遣し支援にあたっています。現地で復旧復興活動にあたる中、日常の暮らしの中で築き上げられた地域での支え合いが、困難な避難生活において大きな力となることを、改めて実感しています。

本市では、自治会町内会をはじめとする地域の皆様が、防災訓練や防犯パトロール、子どもや高齢者の見守り、まちの美化活動、イベント開催など、様々な活動を通じて、地域の安全安心な暮らしと絆を守ってくださっています。横浜市としても、こうした自治会町内会の活動を

より一層お支えしてまいります。

子育て支援にも引き続き力を入れて取り組んでいきます。昨年8月に開始した「子どもの医療費の無料化」に続き、令和6年度から、出産費用の横浜市独自助成をスタートします。出産育児一時金50万円に加え、最大9万円を助成することで、安心して出産できる環境を整えます。また、小学生の夏休み期間中の昼食提供や、様々な子育ての手続きをスマホからできるようにするなど、新たな取り組みを進め、忙しい子育て世帯にさらなる「ゆとり」を創出してまいります。

横浜市長 山中竹春

横浜市版

16面 横浜で、ゆとりある子育てを！ ～おやこ More Smile Package～

各種手続・窓口案内
市営交通の案内など

横浜市コールセンター（毎日8時～21時）
☎045-664-2525 ☎045-664-2828

横浜市コールセンター 検索

区役所の
開庁時間

●平日8時45分～17時（祝日・休日・12月29日から1月3日を除く）
※昼の時間帯はお待たせする時間がある場合があります。
●毎月第2・4土曜日 9時～12時
（戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の業務）

横浜市データ
2024年
4月1日現在

人口 3,767,635人
世帯数 1,807,344世帯
横浜市 推計人口・世帯 検索



いざという時に生きる 地域のつながり

能登半島地震では、交通や通信などが途絶える中、地域での支え合いが大きな力を発揮しました。こうした顔の見える関係は、毎日の暮らしの中で少しずつ培われていくものです。そんな日々の支え合いの中心を担っているのが自治会町内会の皆さんです。

市職員も被災地支援の現場で感じた つながりの大切さ

避難所では、被災者の方々が給水や洗濯で譲り合ったり、助け合ったりする場面を見かけました。日頃からの関係性があることで、大変な中でも、穏やかな空気が流れており、人とのつながりが心の支えになるということを感じました。また、自治会が防災に積極的に取り組んでいたことで、スムーズな避難につながったという話も伺い、日頃の防災訓練などの重要性もあらためて感じました。



水道局 石井職員

防災・減災に取り組む自治会町内会の活動を紹介します

ヨコハマタワーリングスクエア自治会(西区西平沼町)

25階建ての高層マンション内に625世帯と6事業所が入る会員数631の自治会です。年2回の防災訓練や、近隣の地域防災拠点と連携した避難所の立ち上げ・避難者受入訓練、月例定例会を開催しています。また、食料・飲料・簡易トイレパックなどの防災備蓄品を自治会で購入し配付することで、家族実態の把握や啓発などを行っています。



▲防潮シートの組み立て訓練



▲はしご車の立ち上げ訓練

日々の活動についてインタビュー！

防災を軸に生まれるつながり

会長 平野 周二さん

10年ほど前にまちづくりを学ぶ講座に参加した際、地域ぐるみで防災に取り組む必要性を強く感じました。近隣で家屋が倒壊した人が優先的に地域防災拠点を利用できるよう、**マンションの住人の皆さんには、可能な方は在宅避難**するよう日頃から呼びかけています。備蓄品はポスト投函ではなく、指定の日に取りに来てもらうことで、住人の皆さんの顔が見える関係づくりにつながるようにしています。

また、発災後の事だけでなく、**発災時に生き残るための備え**も大切です。**家具の転倒防止策や、感震ブレーカーの設置**など、普段からできる対策がたくさんあります。地区の代表として、子どもたちに防災の話をする時には、「まわりに大人がいないときは、自分で考えて、自分の判断で避難すること。**自分が助かってはじめて周りを助けられる**。自助が共助につながっていく」と伝えています。

私自身も、自助としての防災対策や備蓄をしているほか、防災士などのさまざまな資格を取ったり、講座を受講するなど、自治会の皆さんと一緒に学びながら、日々情報をアップデートしています。



▲「防災士証」を持つ平野さん



自分の階まで、はしごが届かないことが判明

鈴木 二三子さん

はしご車の訓練をした際、12階までしか「はしご」が届かないことが分かりました。**私の階まで当然届くと思っていたので、火事を起こさないようにするにはどうしたらよいか、万が一の時はどうするかを考えるきっかけ**になりました。消火栓も、場所は知っているけれど、使い方は分かりませんでした。自治会に入り、防災訓練や会長の話を聞くことで、日頃からの備えの大切さに気付いた気がします。

今は、我が家でも3~4日分の食料とカセットコンロを用意するようになっています。

自治会に入って、我が家の意識が変わった

井関 元子さん

東日本大震災当時、息子が仙台にいた事もあり、災害時に必要な物品の備えができていないとその時気付きました。また、自治会に関わる中で、防災の具体的な備え・対策を知り、我が家に合った備蓄品も増やしましたし、居場所を知らせるための笛やライトなども用意しています。

防災訓練も、忙しいとつい欠席してしまいがちですが、時間が経つとせっかく覚えた防災知識を忘れてしまう。毎年やっておくことで、いざという時に動けるようになると思います。



自治会町内会には、さまざまな活動があります

防災

備蓄倉庫の管理や防災訓練の実施

防犯

防犯パトロールや防犯灯の設置

見守り

登下校時の子どもや高齢者世帯の見守り

広報

地域情報の発信、「広報よこはま」などの配布

美化

ごみ拾いやごみ集積場所の維持・管理

子育て

子育てサロンや子ども会の開催など

※活動内容は自治会町内会によって異なります。

自治会町内会の活動に気軽に参加してみませんか



平野さん

日頃からの関係づくりのためにも、納涼祭や餅つき大会、新1年生をお祝いする会など、子どもから大人まで世代にとらわれない横のつながりづくりを積極的に進めています。こうした防災以外の自治会活動にもぜひ参加してもらえると嬉しいです。



鈴木さん

実際に自治会活動をやってみると、大変という思いはないです。最初は緊張しましたが、自然にあいさつができるようになり、いろいろな人と知り合いになれました。毎日楽しいですし、ぜひ自治会に入ってみたいと思います。



井関さん

マンションだと、隣の人でもめったに会わないことがありますが、自治会に入って行事などに参加することで、知り合いが増えました。災害など、何かあった時にはみんなで協力する必要があるので、顔を知ってくれている人がいるのは本当にありがたいです。



▲新1年生をお祝いする会の様子

あなたも自治会町内会に加入して、いざという時に備えませんか



詳しくはこちら

問合せ 市民局地域活動推進課 ☎045-671-2317 ☎045-664-0734

横浜市では、自治会町内会活動をさまざまな面から支援しています

※補助には上限額があります。

自治会館の省エネ設備導入費が $\frac{1}{3}$ に！

地域活動の拠点である自治会町内会館のLED照明器具やエアコンなどの省エネ設備導入費用の3分の2を補助します。自治会町内会での脱炭素化の推進にご利用ください。

【問合せ】市民局地域活動推進課

☎045-671-2317 ☎045-664-0734



詳しくはこちら

防犯カメラの購入・設置費が $\frac{1}{10}$ に！

地域の防犯力向上のため、自治会町内会を対象として、防犯カメラの購入及び設置費用の10分の9を補助します。

【問合せ】市民局地域防犯支援課

☎045-671-3705 ☎045-664-0734



詳しくはこちら

感震ブレーカーの購入・設置費が $\frac{1}{2}$ に！

感震ブレーカーは、大きな揺れを感知した場合に、電気を自動的に遮断し地震時の出火を防ぐものです。自治会町内会による購入・設置費用の補助について、6月から対象を市内全域の自治会町内会に拡大します。申請方法など詳しくは、市ウェブページなどで順次お知らせします。

【問合せ】総務局地域防災課 ☎045-671-3456 ☎045-641-1677



詳しくはこちら

6月から対象エリアを全市に拡大

就寝中の大地震から命を守る

防災ベッド・耐震シェルターの補助額 10万円UP!

防災ベッド・耐震シェルターは、家の耐震改修よりも安価で、短期間の設置や住みながらの工事が可能です。4月から、設置費用の補助上限を10万円増額しました。地震、自宅の防災対策としてぜひ検討してください。

補助上限	防災ベッド	20万円
	耐震シェルター	40万円

- 対象要件
- 木造2階建て以下
 - 1981年5月以前に着工した住宅
 - 住宅の1階に設置



詳しくはこちら



防災ベッド

ベッドにフレーム等を設置することにより、住宅の倒壊から身を守ります。



耐震シェルター

住宅の一部屋にフレーム等を設置することにより、安全な空間をつくります。

問合せ 建築局建築防災課 ☎045-671-2930 ☎045-663-3255

5月3日(金・祝)～6月2日(日)は 横浜開港月間です

臨港パークから山下公園までの水際線は、世界に誇れる美しい景観であり、多彩な観光施設も集まっています。開港月間中はさまざまなイベントが開催されますので、横浜ならではの景色とともに楽しみください。



6月1日(土)・2日(日)

第43回 横浜開港祭

「開港を祝い、港に感謝しよう」というテーマのもと、市民が一堂に会する『市民祭』として始まった横浜開港祭。

ステージイベントや子ども縁日など、子どもから大人まで誰でも楽しめる数多くのプログラムを用意しています。

【会場】臨港パーク ほか

【問合せ】 横浜開港祭実行委員会事務局 ☎045-212-5511 ☎045-212-5510



詳しくは
こちら



5月3日(金・祝)～6月9日(日)

ガーデンネックレス横浜2024 横浜ローズウィーク

「花と緑あふれる街 横浜」のシンボルとして長く親しまれてきた横浜市の花“バラ”。見ごろを迎え、咲き誇る“バラ”を、山下公園など市内各所で横浜の歴史を感じる街並みや港の風景とともに楽しむことができます。

【会場】山下公園、港の見える丘公園、横浜市役所、横浜山手西洋館、横浜イングリッシュガーデン、八景島バラ園ほか横浜市内各所

【問合せ】 NTTハローダイヤル ☎050-5548-8686(毎日9時～20時 6月10日まで) ☎045-550-4093



詳しくは
こちら



横浜の花と緑を
PRするマスコット
キャラクター
「ガーデンベア」
©ITOON/GN



山下公園

5月11日(土)・12日(日)

横浜大会 2024ワールドトライアスロン・ パラトライアスロンシリーズ

パリ2024オリンピック・パラリンピック出場に向けて、各国トップレベルの選手が横浜に集結。熱い戦いが繰り広げられます。

【会場】山下公園周辺特設会場(山下公園スタート・フィニッシュ)

【問合せ】 世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会 ☎045-680-5538 ☎045-641-2371



詳しくは
こちら



©Shugo TAKEMI/Japan Triathlon Media

5月25日(土)・26日(日)

スポーツとエンタメを楽しむ2日間 YOKOHAMA B-Block Fes

横浜文化体育館がリニューアルし、まちの賑わいを生み出す横浜の新しいランドマーク「横浜BUNTAI」として今年4月にオープンしました。期間中はスポーツ体験・エンタメステージ・マルシェなどを開催します。

【会場】横浜BUNTAI、大通り公園、関東学院大学(横浜・関内キャンパス)

【問合せ】 にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 ☎045-671-3583 ☎045-664-0669



詳しくは
こちら

広報よこはまPlusでは、
横浜BUNTAIの
特徴などに
ついて紹介
しています。



横浜BUNTAI

5月は11日(土)・16日(木)・
18日(土)・25日(土)・26日(日)

開港月間中をはじめ、年間を通して開催！ 横浜スパークリングトワイライト2024

港の夜空を彩る5分間の花火。2025年3月までに、首都圏最大規模となる27日程度の打ち上げを予定しています。横浜港周辺で実施されるイベントとともに、一年を通じてさらなるまちのにぎわい創出や経済の活性化につなげます。

【開催日時と打ち上げ場所】

5月11日(土)大さん橋/16日(木)・18日(土)・26日(日)新港ふ頭/25日(土)山下ふ頭
20時～20時5分(16日のみ19時～19時5分)

※6月以降の日程はウェブページで確認してください。

【問合せ】 横浜スパークリングトワイライト実行委員会運営事務局 ☎045-663-7267 ☎045-681-2838



詳しくは
こちら



ほかにも、開港月間中は楽しいイベントが満載です。各イベントの詳細情報はウェブページで確認してください。



詳しくは
こちら

はま情報

今月11日以降の、市や外郭団体などが主催・共催の事業を掲載しています
市外局番は「045」です

募集

会計年度任用 職員募集中



介護保険運営協議会委員募集

40歳以上、選考若干名。任期は8月から3年間。詳細は [WEB](#) で

申 5月31日まで

問 健康福祉局介護保険課 (Tel) 671-4252 (Fax) 550-3614)

横浜みどりアップ計画市民推進会議 市民委員募集

5月1日時点で18歳以上、選考6人。任期は10月から3年間。詳細は [WEB](#) で

申 6月7日まで

問 みどり環境局戦略企画課 (Tel) 671-4214 (Fax) 550-4093)

就職氷河期世代

インターンシップ生募集

集合研修、市内企業とのマッチング交流会、就労体験。説明会あり。38～53歳、選考15人。詳細は5月7日から [WEB](#) で

申 6月14日まで

問 会場の就職サポートセンター (Tel) 0120-957-139) か 経済局雇用労働課 (Tel) 671-2343 (Fax) 664-9188)

「地域緑のまちづくり」の提案募集

民有地で団体が行う緑化整備・維持管理活動に関する提案。詳細は [WEB](#) で

申 7月1日～5日

問 みどり環境局環境活動事業課 (Tel) 671-3447 (Fax) 633-9171)

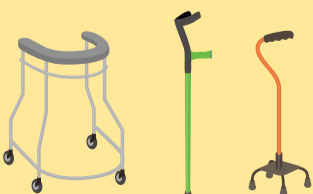
福祉・高齢

令和6年4月から 介護保険制度改正

特定福祉用具は 貸与か販売の選択制に

介護保険給付対象の福祉用具のうち、スロープ・歩行器(歩行車除く)・歩行補助つえ(一部対象外あり)。詳細は [WEB](#) で

問 健康福祉局介護保険課 (Tel) 671-4255 (Fax) 550-3614)



障害者のためのパソコン講習会 参加者募集

①ワード基礎(前編)

②エクセル基礎(前編)

15歳以上(中学生除く)、肢体・内部・精神・聴覚等障害者でタイピングが可能な人、各コース抽選8人。詳細は問合せか [WEB](#) で

日 各13時～16時、全4回

①6月10日(月)・12日(水)～14日(金)

②6月17日(月)・19日(水)～21日(金)

所 横浜ラポール

費 2,310円

申 5月20日まで

問 障害者社会参加推進センター (Tel) 475-2060 (Fax) 475-2064) か 健康福祉局障害自立支援課 (Tel) 671-3602)

視覚障害者向け

点字版・録音版の郵送サービス

「広報よこはま」市版の点字、市版・各区版のCD、市版と南北各9区分のデジを毎月郵送。市長選挙、市議会議員選挙を行う際には「選挙公報」の点字・CDを郵送。郵送希望は申込みを

申 政策経営局広報課 (Tel) 671-2332 (Fax) 661-2351)

ラポール美術展 作品募集

書・絵画・写真・立体造形など。障害のある人が団体、2点まで。詳細は5月2日から申込書(問合せ先で配布。[WEB](#) から入手)で

申 8月31日まで

問 横浜ラポール (Tel) 475-2055 (Fax) 475-2053)

講演・講座

「ぜんそく・アレルギー教室」 オンライン開催

①成人の気管支ぜんそく

②子どもの気管支ぜんそく

各先着90人

日 ①6月6日(木)15時～16時

②6月27日(木)15時～16時30分

申 5月11日から [WEB](#) で

問 みなと赤十字病院 (Tel) 628-6381 (Fax) 628-6101)

講座「初めての東洋医学」 参加者募集

先着30人。講義と心地よいお灸の実技。詳細は [WEB](#) で

日 6月15日(土)10時～12時

申 5月27日から [TEL](#) で会場の盲特別支援学校 (Tel) 431-1629 (Fax) 423-0284)

催し

中央卸売市場 場外マルシェ 開催

市場のプロが厳選した新鮮な食材と飲食物の販売ほか

日 5月25日(土)11時～16時・26日(日)10時～16時。荒天中止

所 山内心頭

問 中央卸売市場本場経営支援課 (Tel) 459-3337 (Fax) 459-3307)

南区青少年の地域活動拠点 リニューアルオープンイベント 開催

利用団体によるパフォーマンスや体験型ワークショップほか

日 5月11日(土)13時～15時

所 横浜青年館

問 こども青少年局青少年育成課 (Tel) 671-2324 (Fax) 663-1926)

親子風力発電所見学会 参加者募集

小・中学生と保護者、各抽選20組。詳細は [WEB](#) で

日 6月16日(日)9時30分・10時30分

所 市役所アトリウムとハマウィング

申 5月29日まで

問 脱炭素・GREEN×EXPO推進局カーボンニュートラル事業推進課 (Tel) 671-4225 (Fax) 550-3925)

ギャンブル等依存症パネル展 開催

アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症について正しい知識と理解を深める

日 5月15日(水)13時～21日(火)17時

所 市役所1階展示スペースB

問 こころの健康相談センター (Tel) 662-3543 (Fax) 662-3525)

製図コンクール展 開催

横浜建築高等職業訓練校生の作品

日 5月29日(水)～6月11日(火)7時～23時30分(29日は13時から、11日は13時まで)

所 市役所1階展示スペースB

問 経済局雇用労働課 (Tel) 671-4098 (Fax) 664-9188)

お知らせ

市有地公募売却

価格等詳細は5月下旬から

財政局ファシリティマネジメント推進課 (Tel) 671-2264



令和6年度軽自動車税(種別割)

①納付期限②納付方法のお知らせ

①5月31日(金)まで。納税通知書は5月1日発送予定②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、地方税お支払サイト

問 居住区の区役所税務課か、財政局

①税務課 (Tel) 671-2253 (Fax) 641-2775)

②徴収対策課 (Tel) 671-2255 (Fax) 641-2775)

国民健康保険 特定健診のお知らせ

2024年4月1日時点で加入している40～74歳へ受診券と案内を5月中旬送付

日 2025年3月31日(月)まで

所 協力医療機関

問 専用ダイヤル (Tel) 664-2606 (Fax) 664-0403)

国民年金保険料 学生納付特例

前年所得が一定額以下の学生。継続希望者も手続きを。詳細は [WEB](#) で

《申請書が送られてきた人》

必要事項を記入等して郵送

《申請書が送られてこない人》

学生証か在学証明書と、マイナンバーカードか基礎年金番号が分かる書類を持参し、居住区の区役所保険年金課

問 申込先か健康福祉局保険年金課 (Tel) 671-2418 (Fax) 664-0403)

市立図書館の休館

全館=5月7日(火)・6月17日(月)

旭・栄・都筑=5月28日(火)～30日(木)、神奈川・中・保土ヶ谷・南=6月4日(火)～6日(木)、磯子・港北・山内=6月11日(火)～13日(木)

問 中央図書館 (Tel) 262-7334 (Fax) 262-0052)

①市民活動保険

②市民活動・地域活動支援制度ガイド

①市内で活動するボランティアへの補償制度。事前の登録手続不要。詳細はリーフレット(区役所総務課で配布)で

② [WEB](#) で配信中

問 市民局地域活動推進課 (Tel) 671-3624 (Fax) 664-0734)

①宅内雨水浸透ます設置助成金

②雨水貯留タンク設置助成金

①雨水を地中に浸み込みやすくし浸水被害を軽減。1個につき15,000円～31,000円、申請1件につき手続き経費等50,000円以内。申込前の購入は対象外

②災害用や庭木用に雨水を有効活用。購入価格の2分の1で上限20,000円。各先着。詳細は [WEB](#) で

申 ①4月1日から②4月15日から

問 下水道河川局管路保全課 (Tel) 671-2829 (Fax) 641-5330)

「第5期ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」配布中

資料の閲覧・配布は期間中、市役所3階市民情報センター、区役所広報相談係

で。 [WEB](#) から可

日 6月28日(金)まで

問 健康福祉局援護対策担当 (Tel) 671-2425 (Fax) 664-0403)

施設から

みなとみらいホール

ハマのJACKのおんがく

①②ファミリーランド

③④ベビーランド

各先着。①3歳以上、400人②小学生以上、400人③1・2歳は各70人。保護者同伴④0歳は200人、1・2歳は各70人。保護者同伴

日 8月10日(土)

①13時②14時20分

③10時④11時15分

費 ①②1,200円(小学生以下500円)

③④500円

申 5月25日10時から [TEL](#) か [WEB](#) で

問 [TEL](#) 682-2000 (Fax) 682-2023

男女共同参画センター横浜北

夫婦関係を見直す女性のための法律講座

50代前後の女性、先着30人

日 6月18日(火)10時～12時

費 1,200円

保 2か月～未就学児(予約制・有料)

申 5月13日から [TEL](#) か [WEB](#) で

問 [TEL](#) 910-5700 (Fax) 910-5755

横浜みなと博物館

展示「良平の横浜みなと・街歩き」
10月14日(月・祝)まで
柳原良平アートミュージアム
500円
221-0280 221-0277

山手西洋館

花と器のハーモニー
世界のアーティストが花と日本の器で
彩る
6月1日(土)～9日(日)9時30分～17時
(1・7・8日は19時まで)
山手西洋館7館
エリスマン邸 211-1101

三溪園

さつき盆栽展
5月19日(日)～6月2日(日)9時～16時30分
(6月2日は16時まで)
900円
621-0635 621-6343

赤城林間学園

自然に学ぼう
中学生以下と家族、抽選30人。群馬県
で自然観察・野外炊事・工作ほか。費用
等詳細は5月11日からWEBで
7月6日(土)～7日(日)泊2日
6月15日まで
0278-24-7011 0278-24-7966

いつまでも、健康で暮らすために 65歳の方は がん検診を無料で受けられます

横浜市では、令和6年4月から、65歳になった人のがん検診を無料にしました。対象の人には、9月中に無料クーポン券を送付します。クーポン券が届く前でも、医療機関で年齢確認をすることにより、無料で受けられます。

今まで受診習慣のなかった人はもちろん、退職前は勤務先で受診していたという人も、これを機に定期的な受診をおすすめします。がんは、早期発見・早期治療が大切です。

【令和6年度に対象になる人】1958年4月2日～1959年4月1日生まれで、各区に住民登録がある人



詳しくはこちら



問合せ 横浜市けんしん専用ダイヤル 045-664-2606 045-664-3851 (月～土曜<祝>・休日除く)8時30分～17時15分)



特別市の 早期法制化を目指します

「特別市」は、横浜市が市内の仕事のすべてを担うことで、神奈川県との間で生じている仕事の重複や非効率な分担をなくす仕組みです。特別市の実現には、まずは法律で制度をつくる必要があります。特別市の法制化は「ミライへの選択肢」をつくることです。



詳しくはこちら



▲ポスターイメージ

特別市の法制化は「ミライへの選択肢」

横浜市は他の政令市とともに、特別市の法制化を国や国会議員に働きかけていますが、市民の皆様と一緒に機運を盛り上げていくことが何よりも大きな推進力となります。

このたび、特別市のことを多くの市民の皆様にご覧いただくため、「ミライへの選択肢」をキーメッセージに、ロゴとステートメント(宣誓文)をつくりました。今後、動画やポスターなどによりさまざまな場所で広報していきます。市のウェブページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

問合せ 政策経営局制度企画課 045-671-2952 045-663-6561



海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は1月の地震で大きな被害を受けた能登(石川県)と横浜のつながりについてです。

能登半島と横浜

横浜都市発展記念館 主任調査研究員 吉田 律人

2024(令和6)年の元日、能登半島の先端を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、北陸地方は大きな揺れに襲われました。津波が沿岸部を襲っただけでなく、輪島市の中心部では大規模な火災も発生しました。さらに、土砂崩れなどによって孤立する集落もあり、被災地では、現在も不自由な生活を送られている方が多くいらっしゃいます。

横浜から能登半島は遠く離れた場所にあります。深いつながりがあります。例えば、鶴見区にある曹洞宗の大本山總持寺は、輪島市門前町に起源があります。また、横浜市内で銭湯を営み、支える人々のルーツも多くが能登半島にありました。

石川県の鹿島郡や羽咋郡、七尾市の神社には、「横浜」の文字が刻まれた鳥居や狛犬、灯籠が多くあります。例えば、1923(大正12)年に建立された鹿島郡中能登町の能登比咩神社の鳥居には、

「横浜市福富町一丁目五十一番地 永瀬啓太郎」とあります。永瀬は銭湯で使用するガラス製品を扱う問屋で、その親戚も横浜市内で銭湯を経営していました。横浜で成功した銭湯経営者は、郷里への恩返しとして積極的に寄付を行い、それを見た人々がさらに横浜へ移住するという流れができていました。横浜市民の公衆衛生は能登半島出身者によって支えられていたのです。

1859(安政6)年の開港以降、横浜の地はさまざまな国や地域からの移住者を受け入れることで、コミュニティを構築してきました。能登と横浜のつながりに想いをはせ、横浜から能登の復興を支え、応援していきましょう。



能登比咩神社(左)と鳥居の拡大写真(右)



2019年9月撮影

問合せ 政策経営局広報課 045-671-2331 045-661-2351

ウェブ版では 抽選で 読者プレゼント あり

さらに 詳しい話は はこちら




広報紙閲覧サービス「カタログポケット」

18区の「広報よこはま」がスマホで読めるようになりました

5月号から、市版と各区版の広報よこはまを電子ブック「カタログポケット」で読むことができるようになりました。いつでもどこでも、気軽に横浜の最新情報をチェック！気になるイベントや手続き情報もスマホで確認できます。


大きな文字で読みやすい！

読みたい文字をタップすると、大きな文字で読むことができます。




気になる記事にすぐにアクセス！

二次元コードをタップするだけで、そのままウェブページにとぶことができます。



記事を切り抜き、SNSでシェア！

気になる記事を切り取って、LINEなどで共有もできます。




10言語に対応、音声でも聴ける！

日本語を含めた10言語で読むことができるほか、音声読み上げ機能があります。読み上げ速度の調整も可能です。



最新号のお知らせが届く！

「広報よこはま市版」を「マイコンテンツ」に登録すると、毎月電子ブック版の発行日にプッシュ通知でお知らせが届きます。




「広報よこはま3月号」が配信されました



Catalog Pocket
カタログポケット



専用アプリでもブラウザでも読むことができます



市版の広報紙はこちらから
2024年5月号の最終ページから
各区版を読むことができます。

問合せ 政策経営局広報課 ☎045-671-2332 ☎045-661-2351

市内小・中学生3,000名を無料招待
横浜F・マリノスをスタジアムで応援しよう！

横浜スポーツパートナーズである横浜F・マリノスの試合に、市内の小・中学生3,000名を無料招待します。会場では、エキサイティングな試合はもちろん、家族や仲間と楽しめるアトラクションやイベントのほか、50店舗を超えるさまざまなグルメが大集合！ぜひこの機会に「横浜F・マリノスのサッカー」を体感してみませんか。

【日時】6月15日(土)16時から

【対戦カード】横浜F・マリノス 対 FC町田ゼルビア

【会場】日産スタジアム

【申込期限】5月28日(火)

※申込多数の場合は抽選となります。※申込みにはJリーグIDの登録が必要です(無料)。
※申込みに係る個人情報はJリーグに帰属します。

問合せ 横浜F・マリノス トリコロールメンバーズ事務局 ☎045-285-0677(原則火～金曜10時～17時) MAIL info@yokohama.marinos.co.jp

©1992 Y.MARINOS

申込みはこちら

横浜スポーツパートナーズ
横浜を本拠地とする7競技13のトップスポーツチームによる連携・協働体制。市内のスポーツ振興や地域活性化などに取り組んでいます。

6月から エコ家電の本体購入価格(税抜)の20%をポイント還元！
エコハマ(横浜市エコ家電応援キャンペーン)第2弾

キャンペーン期間前に購入・設置した場合は、還元の対象にはなりません。
キャンペーン開始日など詳しくは、市ウェブページなどで順次お知らせします。

問合せ 脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素ライフスタイル推進課 ☎045-671-2661 ☎045-550-4838(専用コールセンターを5月13日開設予定)

対象家電

【申請要件】

- 一定の省エネ基準を満たした対象家電を市内のエコハマ登録店舗で購入
- 市民が市内の自宅に設置

令和6年度 横浜市の取り組み

横浜で、 ゆとりある子育てを！

～おやこ More Smile Package～

令和6年度
予算はこちら

横浜市では、「子育てしたいまち」に向けて、令和6年度も子育て支援にしっかりと取り組みます。家事・育児・仕事と忙しい子育て世帯に、さらなる「ゆとり」を創出する新たな取り組みを開始します。



妊娠・出産期

POINT 出産にかかる費用が大幅に軽く！ 横浜市独自！

出産育児一時金に加えて、**横浜市独自に最大9万円を助成**することで、安心して出産できる環境を実現します。

※令和6年4月1日以降に出産した人を対象に、10月から申請を受け付けます。
※健康保険組合からの出産育児一時金の付加給付を差し引いた額を支給します。



詳しくはこちら

出産育児
一時金
50万円

+

横浜市独自
助成金
9万円

【問合せ】子ども青少年局地域子育て支援課 ☎045-671-4157 ☎045-550-3946

乳幼児期

POINT 子育て手続きがスマホで可能に！ 全国初！ [6月末予定]

- 妊娠・出産～6歳までのさまざまな手続きをウェブサイトやスマホアプリから行えます。今後、小学生以降の各種手続きに順次拡大していきます。
- 母子手帳機能が搭載されるほか、予防接種時期のお知らせが個別に届きます。
- 保育園や公園など、子育てにかかる施設検索も可能になります。

申請可能な手続き

出産費用助成、産後母子ケア(訪問型)、小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当、一時預かりの予約 など



【問合せ】子ども青少年局企画調整課 ☎045-671-4281 ☎045-663-8061

学齢期

POINT 保育園登園時の紙おむつやエプロンの準備が不要に！

保護者の登園時の持ち物の負担や、使用済み紙おむつの持ち帰り・処分などの負担を軽減するため、保育園等での紙おむつ・食事用エプロンなどの定額利用サービス(サブスク)の導入や、紙おむつ処分費用への補助を行います。



紙おむつ



エプロン

【問合せ】子ども青少年局保育・教育運営課 ☎045-671-3564 ☎045-664-5479

POINT 夏休みのお弁当づくりが不要に！

夏休み期間中は全ての放課後キッズクラブ・放課後児童クラブで配食サービスによるお弁当を提供し、保護者の負担を軽減します。

※お弁当の料金は400円を予定



【問合せ】子ども青少年局放課後児童育成課 ☎045-671-4068 ☎045-663-1926

スマホでの子育て手続きや放課後キッズクラブなどでの昼食提供については、今後「広報よこはま」に詳しく掲載します。

市政へのご意見・ご提案

手紙

「市民からの提案」と明記し、居住区の区役所へ。市役所や区役所、公共施設に専用封筒もあります。

インターネット

市民からの提案

検索